複数の意見を読んで、考えよう ——正解が一つに決まらない課題と向き合う（1）

［テーマ］環境問題を解決するために、今、何が必要か。

A まずは、科学的根拠に基づき、現状や原因を正しく理解すること

真鍋淑郎

産業革命前の千年間ではあまり変動しなかった地球の平均気温は、その後、二〇二〇年までの間に、既に一度ほど上昇している。気候モデルの計算によると、このままでは今世紀中にさらに二度ほど上がり、温暖化は海上よりも陸上で、熱帯よりも北極域で著しく進むと考えられる。

（中略）

温暖化がもたらす被害の大きさは、地域や世代によって異なる。そのため、問題への向き合い方にも温度差があり、今なお、「地球温暖化は起きていない」と主張する人もいる。しかし、問題の認識そのものがずれていると、解決は難しい。まずは、科学的根拠に基づき、現状や原因を正しく理解すること。そのうえで有効な対策を講じることが、問題を解決するための第一歩である。

B 社会全体で解決できる仕組みを作る

伊勢武史

（筆者は、ごみ拾いや節電、募金といった個人の良心や自己犠牲に基づく取り組みだけに頼っていては、地球環境を守ることはできないと考えています。）

では、どうすればよいか。個人に負担を強いるのではなく、社会全体で解決する工夫が必要だ。例えばスーパーで食材を選ぶ際、私たちはなるべく安くておいしいものを選ぶ。あたりまえだ。このような人間の「あたりまえ」を利用して、環境を守る仕組みを作るのだ。つまり、安くておいしいものを選んだら、最も環境によい商品だった、という状況を作り出せばよい。①こんな都合のよい状況の実現のために「インセンティブ」という考え方が使える。これは経済学の用語であり、人々の意思決定や行動を変化させる要因のことだ。例えば、政府が環境によい製品に補助金を出すことで、その製品の価格は安くなり、消費者に人気が出る。逆に、環境に悪い製品には補助金が出ないので、価格が高くなり、あまり売れなくなる。このように、②政策決定者がしっかりとインセンティブを実施すれば、「お買い得」みたいな言葉に弱い我々でも環境保全に貢献できる。

確認テスト 本文を読んで、問いに答えなさい。

(1) **A**の文章で、「環境問題を解決するために、今、何が必要か。」というテーマに対する筆者の提言を表すひとつづきの二文を探し、その最初の三字を答えなさい。

(2) **A**の文章の内容に合うものを選びなさい。

ア 産業革命以前の千年間で地球の平均気温は数度上昇しており、現在もその傾向(けいこう)が続いている。

イ 気候モデルの計算によると、地球の平均気温は今世紀中に現状から二度ほど上がると予想される。

ウ 地球の温暖化は、海上よりも陸上で、北極域よりも熱帯の地域でより進むと考えられている。

(3) **B**の文章の——線①「こんな都合のよい状況」とはどのような状況か。適当なものを選びなさい。

ア 社会全体で一人一人が自らの良心に基づいて行動し、地球環境を守ろうとすることがあたりまえになる状況。

イ 世の中の人が自分の「あたりまえ」を改め、安くておいしいものよりも環境によい商品をあたりまえに選ぶ状況。

ウ 安くておいしいものを選ぶというあたりまえの行動をすれば、結果的に環境によい商品を選ぶことになるという状況。

(4) **B**の文章の——線②「政策決定者がしっかりとインセンティブを実施すれば」とあるが、インセンティブを政策として実施する場合の具体的な例が書かれたひとつづきの二文を探し、その最初の三字を答えなさい。